

令和3年度

事業概要

港湾局

目 次

I	港湾局の概要	1
II	組織と事務分掌	2
III	令和3年度 主要事業	3

港湾局の概要

1. 局長 長谷川 憲孝

2. 局の職員数 262 人（令和 3 年 4 月 20 日現在）

3. 令和 3 年度予算の概要

（1）港湾事業会計 予算

①収益的収入及び支出 （単位：千円）

収入		支出	
款	金額	款	金額
1 港湾管理事業収益	23,758,000	1 港湾管理事業費	22,866,000
2 港湾施設運営事業収益	2,546,000	2 港湾施設運営事業費	2,903,000
3 空港事業収益	882,000	3 空港事業費	858,000
		4 予備費	50,000
収入合計	27,186,000	支出合計	26,677,000

②資本的収入及び支出 （単位：千円）

収入		支出	
款	金額	款	金額
1 資本的収入	50,504,588	1 資本的支出	56,484,000
収入合計	50,504,588	支出合計	56,484,000

（2）一般会計 予算

（単位：千円）

歳入		歳出	
款	金額	款	金額
17 使用料及手数料	5,847	9 土木費	4,474,985
18 国庫支出金	563,350		
24 諸収入	80		
25 市債	3,469,000		
歳入合計	4,038,277	歳出合計	4,474,985

港湾局

経営企画課

- (1)局所管事務の運営管理に係る総括調整に関すること。
- (2)船員及び港湾労働者等の福利厚生に関すること。
- (3)港湾環境整備負担金に関すること。
- (4)港湾事業の料金制度に関すること。

ウォーターフロント再開発推進課

- (1)ウォーターフロント（新港突堤西地区及び中突堤・高浜地区）の再開発に係る調査、企画及び調整に関すること。

空港調整課

- (1)神戸空港及び神戸空港島に係る調査、企画及び調整に関すること。

振興課

- (1)港湾のにぎわい創出、情報発信、国際業務、客船誘致その他港湾の振興に係る調査、企画及び調整に関すること。

経営課

- (1)港湾施設の管理に係る調査、企画及び調整に関すること。
- (2)港湾区域（港湾隣接地域を含む。）内の行為の規制及び臨港地区内の分区における構築物の規制に関すること（他の所管に属するものを除く。）。
- (3)不動産（他の所管に属するものを除く。）の取得及び処分並びに取得に伴う損失補償に関すること。
- (4)臨港地区における港湾産業に関すること。

海務課

- (1)船舶の入出港に係る港湾施設の管理及び運用に関すること（他の所管に属するものを除く。）。
- (2)船舶の入出港その他の動静管理に関すること。
- (3)港湾区域内における船舶の安全及び利用に関すること。
- (4)国際水域施設の保安対策に関すること。
- (5)港務艇の運航（運搬給水を含む。）及び維持管理に関すること。

神戸港管理事務所

- (1)港湾施設及び普通財産の管理に関すること（他の所管に属するものを除く。）。
- (2)船舶給水（運搬給水を除く。）に関すること。

港湾計画課

- (1)港湾及び海岸の計画等に係る調査、企画及び調整に関すること（他の所管に属するものを除く。）。
- (2)港湾の統計に係る調査及び解析に関すること。
- (3)港湾手続及び港湾物流の情報化に関する情報処理に係る調査、企画及び調整に関すること。

物流戦略課

- (1)船舶（客船を除く。）及び貨物の誘致に係る調査、企画及び調整に関すること。

工務課

- (1)課及び海岸防災課の所管の工事等の施行手続に関すること。
- (2)港湾施設及び海岸保全施設の維持保全及び工事並びにこれらに係る調整に関すること（他の所管に属するものを除く。）。

海岸防災課

- (1)海岸保全区域の指定並びに海岸保全施設及び須磨海岸港湾施設の管理に関すること。
- (2)須磨海水浴場の運営に関すること。
- (3)海岸保全施設及び港湾施設の維持保全及び工事並びにこれらに係る調整に関すること（他の所管に属するものを除く。）。
- (4)局の防災の総合調整及び水際対策に関すること。
- (5)国際埠頭施設の保安対策に関すること。

令和3年度 主要事業の概要

1. 港湾事業会計

(1) 国際コンテナ戦略港湾の推進

神戸港の港勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により先行き不透明な状況が続いているが、ハード・ソフト両面での国際コンテナ戦略港湾政策を展開することによって、早期に港勢回復を目指す。

① 神戸港への集貨（物流戦略課）

内航フィーダー航路網を生かした瀬戸内・九州エリアからの集貨や東南アジア－北米間をはじめとする神戸港でのトランシップ貨物の取り込みを進めることで、基幹航路誘致に必要な貨物量を集貨し、基幹航路の多方面・多頻度化を図る。

また、感染症や災害時においても物流を機能させるため、事業者の事業継続の観点を取り入れた物流改善の取り組みを支援するなど、with コロナの視点も踏まえた施策に取り組む。

さらに、コンテナ貨物の集貨に加え、在来貨物の集貨・定期航路誘致を進めることにより、神戸港の利便性を高める。

- (R3年度事業)：
- ・国際戦略港湾競争力強化対策事業
(国の集貨支援事業を活用)
 - ・阪神港貨物集貨促進事業
(内航フィーダー等を活用した貨物集貨支援)
 - ・港勢拡大促進事業
(新規航路開設やトランシップ貨物集貨支援)
 - ・神戸港の物流改善のためのトライアル事業
(アジア広域集貨プロジェクトチーム)
 - ・在来貨物集貨促進事業
(在来貨物集貨及び定期航路開設支援)

② 高規格コンテナターミナル等の整備による港湾機能の強化（港湾計画課、物流戦略課）

高規格コンテナターミナルの整備に加え、大阪湾岸道路西伸部やハーバーハイウェイのETC整備など港湾物流の円滑化を図ることで、神戸港の生産性向上を図り、国際競争力を強化する。

また、水素等の次世代エネルギーの利活用等を図り、脱炭素化に配慮した高度な港湾機能・施設の導入による「カーボンニュートラルポート」の形成に向けた検討を行う。

- (R3年度事業)：
- ・港湾直轄事業費負担金
(高規格コンテナターミナルの整備、大阪湾岸道路西伸部の整備促進)
 - ・阪神国際港湾株式会社資金貸付事業（ガントリークレーンの整備等）
 - ・阪神港COMPAS導入（港湾エリアの混雑解消）
 - ・ハーバーハイウェイ（港湾幹線道路）のETC整備
 - ・神戸空港連絡橋拡幅（4車線化）
 - ・カーボンニュートラルポートの形成に向けた検討
 - ・ブルーカーボン導入検討

(2) ウォーターフロント地区の魅力向上

① ウォーターフロント地区の再整備（ウォーターフロント再開発推進課）

「港都 神戸」グランドデザインや神戸港将来構想に掲げる「世界から人を惹きつける神戸ウォーターフロントの形成」を目指し、新港突堤西地区では、第1突堤基部、第2突堤の再開発事業に続き、第1・2突堤間の水域活用を含む次期再開発の事業化に向けて取り組む。

また、中突堤周辺地区では、神戸ポートタワーのリニューアルや中突堤中央ビルの再整備に取り組むほか、神戸海洋博物館のライトアップやメリケンパークの賑わいづくりなど、観光・エンタランスエリアの機能強化を図る。

これらの面的な再開発の進捗にあわせて、ハーバーランド～中突堤～新港突堤西地区に至るウォーターフロントエリア内の回遊を促す取り組みとして、多様な移動手段の事業化検討などに着手する。

さらに、これら広範囲かつ多岐にわたるウォーターフロントエリアのまちづくりについて、長期的に統一感をもって行うため、官民連携の橋渡しやマネジメントを行う新たな組織体制・仕組みとして、株式会社を設立する。

- (R3年度事業)：
- ・新港第2突堤及び周辺での再開発事業の具現化に向けた取り組み
 - ・新港第1・2突堤間の水域活用に向けた調査検討
 - ・神戸ポートタワーのリニューアルと中突堤中央ビル再整備の具現化に向けた取り組み
 - ・多様な移動手段の事業化検討
 - ・新会社設立による官民連携の取り組み強化

② 市民に親しまれるみなとづくり

(ウォーターフロント再開発推進課、振興課、経営課、港湾計画課)

with コロナの視点を踏まえた分散型の花火・イルミネーションなどの新たな取り組みや、メリケンパークの賑わいづくりに取り組み、ウォーターフロントエリアの魅力向上を図る。

海事分野の人材育成については、神戸海洋博物館における企画展などの取り組みに加え、青少年が海・船・港に親しみ港湾産業の重要性を学ぶ機会づくりとして、学校教育・海技教育機構・遊覧船など港湾関係事業者と連携した取り組みを進める。

また、須磨海浜水族園・海浜公園のリニューアルにあわせて、須磨ヨットハーバーの再整備及び管理・運営方法について調査・検討を進め、エリア全体のさらなる魅力向上を図るとともに、老朽化したポートアイランド南公園のリノベーションに着手する。

- (R3年度事業)：
- ・with コロナ時代における新しい分散型花火イベントの開催
 - ・ARの活用やイルミネーションイベントの開催
 - ・メリケンパークの賑わいづくり
 - ・神戸・みなと体験、みなとの学習会の開催
 - ・神戸海洋博物館の管理運営
 - ・須磨ヨットハーバーの再整備及び管理・運営方法の検討
 - ・ポートアイランド南公園のリノベーション
 - ・兵庫運河の活性化

(3) クルーズ客船・内航フェリーの受入れによる地域活性化

① クルーズ客船誘致の推進（振興課）

感染症対策やコロナ後の客船の寄港に対応すべく、ターミナルでの受入れ体制の強化を進めるとともに、客船入港時のおもてなしや寄港地観光の充実、瀬戸内クルーズの推進を図ることにより、幅広い層の客船誘致を目指す。

- (R3年度事業)：
- ・ターミナルにおける感染症対策及び客船受入れ環境の充実
(感染症対策・客船受入れにかかるターミナルの動線改良等)
 - ・フライ&クルーズや瀬戸内クルーズの推進
 - ・おもてなし力の強化と寄港地観光の充実
(特別感のある寄港地観光ツアーの造成等)

② 内航フェリーの活性化（港湾計画課、物流戦略課）

貨物需要の増大に伴うフェリーの大型化に対応するため、新港第3突堤の係留施設や旅客ターミナル周辺の改修を進めるほか、with コロナに対応したフェリーの魅力をPRするなど、神戸港における内航フェリーの活性化を図る。

(4) 須磨海岸の健全化・品質向上・活性化（海岸防災課）

須磨海水浴場において、令和元年に西日本で初めて取得した国際環境認証「ブルーフラッグ」の継続取得を目指すとともに、子供を連れて家族で行きたくなるような海水浴場の実現に向けて、健全化の取り組みを推進する。

また、四季を通じて多くの人々が訪れる賑わいのある海岸づくりに取り組むほか、今後の須磨海岸の活用手法を検討する。

- (R3年度事業)：
- ・須磨海水浴場の健全化（ファミリーエリアの設置，安全体制の維持）
 - ・仮設利便施設の設置（トイレ・シャワー・ロッカー）
 - ・須磨海岸の活用手法検討

(5) 港湾労働者などの福祉の増進（経営企画課）

港湾労働者などの福祉の増進を図るため、港湾厚生施設の改修などに取り組む。

- (R3年度事業)：
- ・神戸港福利厚生施設「神戸ポートオアシス」等の管理運営
 - ・港湾厚生施設の改修

(6) 神戸空港の運営（空港調整課）

神戸空港は、平成30年4月から関西エアポート神戸株式会社が運営しており、関西国際空港及び大阪国際空港との一体的運営を図っている。

令和元年5月の関西3空港懇談会の合意に基づき、発着枠の拡大及び23時までの運用時間の延長が実現した。

今後、コロナ禍においても、運営会社である関西エアポート神戸株式会社や航空会社などとともに、感染症対策及び航空機利用における安心感の醸成に取り組むほか、就航先の自治体などと連携し、需要回復に向けて取り組む。

2. 一般会計（港湾局所管分）

（1）高潮・津波対策（海岸防災課）

将来、発生が想定される南海トラフ巨大地震に伴う津波及び大型化する台風に伴う高潮に対し、市民の安全・安心を確保するとともに、災害に強い都市づくりのため、ハード、ソフトあわせた総合的な高潮・津波対策に取り組む。

① 陸閘等の遠隔操作化事業

発災後、短時間で到達する津波に対し、水門及び陸閘を迅速・確実に閉鎖するとともに、閉鎖従事者のさらなる安全確保を目的に、継続的に実施している陸閘等の閉鎖訓練に加え、防災機能の強化を目指し、平成 30 年度から三宮南地区において遠隔操作化事業に取り組んでいる。引き続き、令和 6 年度末の完了を目標に神戸港全域の遠隔操作化を進める。

② 海岸保全施設の老朽化対策

津波や高潮発生時における市民の安全を確保するため、老朽化した海岸保全施設の補修を実施し、施設の機能維持及び延命化に取り組む。

（2）災害に強いみなとづくり（海岸防災課）

平成 30 年の大型台風による高潮被害を受け、再度災害防止に向けたハード対策を進めており、引き続き、六甲アイランドにおいて荷捌き地の嵩上げや背後道路の地盤嵩上げを進めるほか、ポートアイランドにおいて排水ポンプ整備や道路の嵩上げなどによる緊急輸送路の浸水対策に取り組む。

（R 3 年度事業）： ・ 神戸港高潮対策緊急事業